

無病息災・家内安全のご利益

きゅうり

天王

(八雲神社)

〔郡山市田村町川曲淵石地内〕

須賀川市に伝わる「きゅうり天王祭」という珍しい祭りがある。その昔、悪い病気が流行した時、人々は牛頭天王(現岩瀬神社)の祟りだとして、この地方で採れるキュウリをお供えして祈願したところ、流行り病がおさまったと伝えられる。以来今でも、キュウリを二本供えてお詣りし、お護符(お守り札)代わりに一本を持ち帰る。そのキュウリを食べると、その年は無病息災・家内安全などのご利益があるといわれている。

して大切にされてきた神社だ。八雲神社の祭礼は、旧暦の4月・6月・9月の3回、いずれも農作業が一段落する頃にあたる。時節に応じた祭事や宴を催し、ひとときの休息を楽しんだものと推察できる。八雲神社が「きゅうり天王」と呼ばれる由縁でもあるキュウリの奉納は、毎年旧暦の6月15日の祭礼のひとつとして行われてきた。☒大切な伝統として受け継がれてきたが、若手後継者が時間を費やすことができなくなり、7月(旧暦6月)に収穫されるキュウリを奉納する祭礼だけとなっている。



道ばたにも文化財



【にんじん(カラカサバナ科ニンジン属)】

ニンジン(ニンジン)は、花が咲かないうちに収穫するのが普通。花が咲くと、芯が固くなり食用向きではないため、畑で花を見かけることはめったにない。

野生種は薬用として古くから利用され、食用としては10世紀にイラン・バビロニアなどで栽培された記録が残っているという。

畑のはな